



学校だより



小川小学校 ○ 考える子 ○ 優しい子 ○ 元気な子 令和2年4月23日 No.2

《「出逢い」「感動」「仲間づくり」…そして「絆」》

4月8日、久しぶりに学校には元気な子ども（新1年生）の声が聞こえました。校内に明るい光が差し込み、あらゆるものが息を吹き返したような、そんな感覚をもちました。やはり学校は、子どもあつての学校だと強く感じました。また、2年生から6年生が植えたパンジーの花々は色鮮やかに咲き誇り、1年生の入学式を祝うようでした。自然界はコロナウイルスのことも忘れたかのように生き生きと春の輝きを放っています。

そして、4月14・15日は、新しい学年での担任発表、クラス替えでの新しいクラスの仲間の確認、新しい教科書など、いくつもの出逢いがありました。



特に、担任の先生との出逢いには、子供たちが少し照



れていた様子うかがえました。保護者の方にも児童の送迎にご協力いただきありがとうございます。いずれにしてもこれが『出逢い』であることはまちがいありません。人間関係は、この出逢いから生まれるものです。「出逢い」によって何かしらの感動（ある物事から強い印象を受けて心を動かされること）があったのも事実です。「人生にはムダな出逢いはない」と言われます。

裏返せばどんな出逢いでも、結果必ず、自分にとってはプラスになるということです。相田みつをさんは、こう言います。

**人を動かし人を変えてゆくものは、難しい理論や理屈じゃないんだな。
感動が人を動かし、出逢いが人間を変えてゆくんだな。よき出逢いを。**

一つ一つの出逢いを良きものにしようとすれば、その出逢いから何か生まれ、自分の中の隠れた部分が引き出される。そう思いたいものです。

小川小学校の先生方は、子どものよさを一つでも引き出せる、出逢えて良かった教師の一人となるよう、これからも努力してまいります。

今後、学校が再開して、子ども同士が出逢い、子どもと教師が出逢うと同時に、教師と保護者の出逢い、あるいは保護者同士の出逢いが待っています。子どもを育てる（教育効果をあげる）には、これらの絆を深めることも大切です。子どもを通じたこの出逢いに感謝し、お互いに歩み寄り、子どもも親も教師も仲間づくりから始めましょう。どうぞよろしくお願ひいたします。

《職員異動のお知らせ》

[転任・退職された方々]

	個人情報のため、掲載は控えさせていただきます。		

[転入された方々]

	個人情報のため、掲載は控えさせていただきます。		

《令和2年度 教職員紹介》

校長	個人情報のため、掲載は控えさせていただきます。	第1学年	1組 2組	個人情報のため、掲載は控えさせていただきます。
教頭		第2学年	1組 2組	
教務主任		第3学年	1組 2組	
教務		第4学年	1組 2組	
英語専科教員		第5学年	1組 2組	
初任者研修指導教員		第6学年	1組 2組	
通級指導教室		ひばり学級	1組 2組 3組 4組	
養護教諭				
事務主事				
栄養教諭				
学校生活サポーター				
校務員				
介助員				
非常勤職員				

保護者の皆さまへお願い

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度年間行事計画で示されている諸行事の実施については、ただいま検討中のものが多くなります。今後、決定次第にお知らせいたします。

ご迷惑をおかけしますがどうぞよろしくお願いいたします。